

令和5年度事業報告書

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

社会福祉法人柳川市社会福祉協議会

令和 5 年度 事業報告概要

新型コロナウイルス感染症との共存は 4 年目を迎えましたが、令和 5 年 5 月に感染法上の位置づけが 5 類感染症へと移行され、本格的なアフターコロナの時代へと移ってきました。また、コロナ禍において活動を控えていた方々の地域活動再開の動きに加え、地域の居場所づくりなど住民主体による支え合い活動の積極的な展開も見られるようになりました。

そのような中、本会では、誰もが安心して暮らし続けられる地域社会の実現に向けて、令和 4 年度に策定した「第 3 期地域福祉活動計画」の初年度の取り組みを進め、地域住民の個別ニーズに応える生活支援や地域の福祉関係者及び団体等と連携し、制度の狭間にある様々な福祉課題に対応していくための福祉事業や福祉活動を実施、推進してきました。

《重点目標について》

(1) 第 3 期地域福祉活動計画の推進

第 3 期地域福祉活動計画を推進するにあたり、地域福祉活動への市民の理解と参画は不可欠であることから、社協だよりに計画内容を連載し市民への理解促進と周知を行いました。

福祉委員活動については、4 年ぶりに地区別研修会を開催し、意見交換を通じて互いの活動状況を確認する機会を提供しました。また、現任者の任期満了に伴い、次期委員の選任手続きと併せ、今後の活動支援につなげるため、活動アンケートを実施し、福祉委員活動の実態把握に努めました。

市民に必要な情報を届ける社協だよりについては、読みやすく、わかりやすい紙面づくりに努めるとともに、広報紙を通じて地域の様々な活動の紹介を行いました。また、ホームページや Facebook、LINE 等の SNS を活用し、若年層に向けた情報発信の充実に努めました。

新型コロナの 5 類移行を受けて 4 年ぶりに通常開催となった社会福祉大会では、市内の福祉関係者や市民など約 600 人の方々に来場いただきました。大会では、社会福祉に功績のあった方々を表彰するとともに、今後の地域福祉の更なる推進に取り組む決意を新たにしました。

コロナウイルスの影響で減収した世帯に対する生活福祉資金特例貸付の償還開始に伴い、償還猶予や他の必要な情報を届けるため、アンケート調査を実施するなど、借受世帯に寄り添った相談支援に努めました。また、生活困窮状態が続いている世帯に対しては、フードバンク事業や市民からの寄贈による食糧支援の他、活用可能な社会資源の情報提供を行いました。

(2) 地域の支え合い活動の推進

新型コロナウイルスの感染流行がある程度落ち着いてきたこともあり、地域のつながりの再構築を求める声も出てきたことから、よりあい活動や地域食堂といった居場所づくりや交流の場づくり支援に努めました。

地域関係者への活動支援については、地区社協関係者を対象とした研修会の開催や、見守りマップづくり等を通じて、関係者相互の連携や福祉活動の活性化に向けた支援を行いました。

また、個人を支える取り組みとして、生活支援ボランティア（ちょいボラ）を通じて、独居高齢者世帯等が抱える生活課題の解決に努めました。

(3) 法人後見の受任に係る支援体制の整備

令和 6 年度からの受任に向けて家庭裁判所に手続き方法や必要事項を確認するとともに、関係規程の整備や相談支援システムの導入など必要な予算等を検討するため、先進地の大牟田市や八女市の視察を行いました。

また、担当部署となる生活支援系の人員体制を強化するため、現在、正規職員 2 人、専任職員（非正規）3 人の体制を令和 6 年 7 月から正規職員 3 人、専任職員 2 人に変更することとしました。

（４）感染症や災害時の在宅サービス業務継続計画の策定

コロナ禍での在宅福祉サービスの事業運営が 4 年を経過しました。コロナ感染症が 5 類に移行されたことにより、感染が疑われる利用者に対しても感染防止対策を講じながら介護サービスの提供を行い、その後、従事者の受検及び体調確認に努めました。

また、自然災害や感染症が発生した場合であっても、利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供されるよう業務継続計画の策定が令和 6 年度に義務化されることから、ガイドラインに基づき計画を策定しました。

以下、令和 5 年度の事業概要について報告します。

1. 法人経営部門

- (1) 理事会・評議員会等の開催
 - 理事会の開催 5回 (6/2. 6/22. 9/8. 12/19. 3/15)
 - 監事会の開催 1回 (5/16)
 - 評議員会の開催 3回 (6/22. 9/26. 3/26)
 - 正副会長会の開催 1回 (3/1)
 - 企画財政委員会の開催 1回 (1/26)
 - 評議員選任・解任委員会の開催 2回 (6/12. 9/19)
 - 表彰審査委員会の開催 1回 (9/20)
- (2) 職員の教育・研修 5回 (職員研修2回、人権・同和研修3回)
- (3) 他市町村災害ボランティアセンターへの職員派遣 (広川町及び久留米市)
派遣延べ日数 40 日間、派遣者 9 人 (正規職員)
- (4) 福祉人材育成のための実習受入れ
介護員養成実習 (受入無し)、社会福祉援助実習 (2名)

2. 地域福祉活動部門

- (1) ボランティアセンター管理運営
 - 窓口対応件数 550 件 ボランティア体験会 (2回、12人参加)
 - ボランティアサロン 11回開催、延べ168人参加
 - 生活支援ボランティア (ちょいボラ) 要請件数 6件
- (2) ボランティア講座 2回開催、延べ35人参加
- (3) 傾聴ボランティア養成講座 8回開催、13人参加
- (4) 市民福祉講座 1回開催、15人参加
- (5) 福祉出前講座 蒲池小学校3年生 (49人)、柳川高校 (3日間)
- (6) 福祉教育教材配布 (小学校19校、特別支援学校1校) 582冊 (教職員分を含む)
- (7) 各種機材・機器等貸与事業 高齢者疑似体験用具6件、プロジェクター3件、スクリーン2件、
スピーカー2件、DVD ビデオデッキ1件
- (8) 各種基礎調査 令和5年3月31日現在 人口、世帯数、独居高齢者数、高齢者世帯数
- (9) 社協だよりの発行 年6回 (No.109~No.114)
- (10) インターネットによる情報発信 ホームページ (通年)、フェイスブック、LINE
- (11) 第17回柳川市社会福祉大会 10/21、市民文化会館、参加者584人
- (12) 福祉委員設置推進
294行政区/458人 地区別研修会 (9/6、9/8、9/13)
- (13) 地区社協事業
全体連絡会2回 役員研修会 (1/27) 個別支援 (随時)
- (14) よりあい活動支援事業
遊具貸与件数45件 レクリエーション指導23回 助成金交付5件
- (15) 助成事業
歳末たすけあい (19地区社協、943,300円)
福祉団体活動支援 (4団体、639,000円)

ボランティア団体活動支援（4団体、135,000円）

ボランティア連絡協議会活動支援（94,000円）

地域食堂支援（4団体、95,000円）

(16) 物故者敬供事業 927件

(17) 地域における公益的な取り組みの推進

市内清掃活動への参加 2回 延べ11人

ストレスマネジメント研修への参加 5人

3. 市民福祉サービス部門

(1) 心配ごと相談事業 開設日数 22日 相談件数 30件

(2) 緊急支援品支給事業 申請件数 165件 実申請者数 44人

(3) 生活福祉資金貸付事業 相談件数 178件 申請件数 22件 決定件数 21件

(4) 子育て支援ゆずりあい事業 譲受件数 16件 譲渡件数 20件

(5) 福祉用具貸与事業 年間貸与延べ件数 1,137件

(6) ハンディキャブ貸与事業 年間貸与件数 120件 実利用者数 27人

(7) 火災見舞品支給事業 5件/10セット

(8) 日常生活自立支援事業 利用者数 27人 支援回数 536回

(9) 福祉バス事業 利用日数 47日 利用者数 637人

(10) 老人福祉センター管理運営

大和老人福祉センター 開館日数 293日 延べ利用者数 8,472人

三橋老人福祉センター 開館日数 261日 延べ利用者数 9,049人

4. 障がい者相談支援部門

(1) 障害者相談支援・特定相談支援事業 相談件数 11,460件 サービス利用計画 135件

5. 在宅福祉サービス部門

(1) 居宅介護支援 ケアプラン作成 1,121人

訪問介護 利用者数 328人 利用回数 2,569回

障害者居宅介護 利用者数 147人 利用回数 1,657回

(2) 予防給付事業

介護予防支援 利用者数 185人

介護予防・日常生活支援総合事業 訪問型サービス

利用者数 566人 利用回数 4,074回

(3) 在宅介護自費サービス事業 利用回数 208回

(4) 地域生活支援事業

移動支援 利用回数 288回

(5) 生活管理指導員派遣事業 派遣回数 830回

(6) エンゼルサポーター派遣事業 派遣回数 15回

(7) 高齢者生きがい活動支援通所事業 実施日数 235日 延べ利用者数 2,435人

事業報告付属明細書

《法人経営部門》

1. 理事会・評議員会等の開催

会議名等	時期・場所等	議案内容及び結果等
(1) 理事会	第1回理事会 ○令和5年6月2日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事10人（総数11人） ※定数10人以上15人以内 ・監事2人 ※定数2人 ・事務局7人	選任第1号 副会長の選任 議案第1号 令和5年度一般会計資金収支補正予算 [第1号]の専決処分 議案第2号 令和4年度事業報告及び決算報告 [主な意見及び質疑] ・積立資産取崩収入の内容について ・本会の経営状況について 議案第3号 福祉用具貸与規程の一部改正 議案第4号 居宅介護支援・居宅介護予防支援事業 所運営規程の一部改正に係る専決処分 議案第5号 次期役員選任候補者の推薦 議案第6号 後任評議員選任候補者の推薦 議案第7号 令和5年度定時（第1回）評議員会の 招集 議案第8号 評議員選任・解任委員会の招集 報告第1号 令和4年度会長及び常務理事の職務執 行状況（下半期）の報告 ※全議案全会一致で可決
	第2回理事会 ○令和5年6月22日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事10人（総数11人） ※定数10人以上15人以内 ・監事2人 ※定数2人 ・事務局3人	選任第1号 会長の選任 選任第2号 副会長の選任 選任第3号 常務理事の選任 ※全議案全会一致で可決
	第3回理事会 ○令和5年9月8日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事8人（総数11人） ※定数10人以上15人以内 ・監事2人 ※定数2人 ・事務局6人	議案第1号 令和5年度一般会計資金収支補正予算 [第2号]の専決処分 議案第2号 理事選任候補者の推薦 議案第3号 後任評議員選任候補者の推薦 議案第4号 後任評議員選任・解任委員の選任 議案第5号 令和5年度第2回評議員会の招集 議案第6号 令和5年度第2回評議員選任・解任委 員会の招集 ※全議案全会一致で可決

	<p>第4回理事会</p> <p>○令和5年12月19日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事12人（総数13人） ※定数10人以上15人以内 ・監事2人 ※定数2人 ・事務局5人 	<p>議案第1号 給与規程の一部改正</p> <p>議案第2号 評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正</p> <p>報告第1号 令和5年度会長及び常務理事の職務執行状況（上半期）の報告</p> <p>※全議案全会一致で可決</p>
	<p>第5回理事会</p> <p>○令和6年3月15日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事11人（総数13人） ※定数10人以上15人以内 ・監事2人 ※定数2人 ・事務局7人 	<p>議案第1号 令和5年度一般会計資金収支補正予算〔第3号〕の専決処分 〔主な意見及び質疑〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費税課税となった経緯について <p>議案第2号 指定障害福祉サービス居宅介護事業所運営規程の一部改正に係る専決処分</p> <p>議案第3号 訪問介護事業所運営規程の一部改正</p> <p>議案第4号 居宅介護支援・居宅介護予防支援事業所運営規程の一部改正</p> <p>議案第5号 柳川市介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号訪問介護事業所運営規程の一部改正 〔主な意見及び質疑〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護員数変更に係る職員への負担について <p>議案第6号 平成29年度から令和8年度社会福祉充実計画の終了</p> <p>議案第7号 柳川市生活支援体制整備事業の受託</p> <p>議案第8号 法人後見実施規程の制定</p> <p>議案第9号 定款の変更</p> <p>議案第10号 経理規程の一部改正</p> <p>議案第11号 役員等報酬規程の一部改正 〔主な意見及び質疑〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人後見の利用対象について <p>議案第12号 令和6年度事業計画 〔主な意見及び質疑〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やながわ福祉のつどいの日程周知の時期について <p>議案第13号 令和6年度一般会計資金収支予算 〔主な意見及び質疑〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉団体等助成金について <p>議案第14号 令和5年度第3回評議員会の招集</p> <p>※議案第13号のみ賛成多数（賛成10、反対1）、その他全議案全会一致で可決</p>

<p>(2) 監事会</p>	<p>第 1 回監事会 ○令和 5 年 5 月 16 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・監事 2 人 ※定数 2 人</p>	<p>令和 4 年度事業報告及び決算報告に係る監査 ※指摘事項なし</p>
<p>(3) 評議員会</p>	<p>定時評議員会 ○決議日：令和 5 年 6 月 22 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・評議員 14 人（総数 19 人） ※定数 17 人以上 22 人以内 ・監事 2 人 ※定数 2 人 ・会長、常務理事 ・事務局 7 人</p>	<p>議案第 1 号 令和 5 年度資金収支補正予算 [第 1 号] の専決処分 議案第 2 号 令和 4 年度事業報告及び決算報告 [主な意見及び質疑] ・社協会費の行政区納入率について 議案第 3 号 次期役員を選任 ※全議案全会一致で可決</p>
	<p>第 2 回評議員会 ○令和 5 年 9 月 26 日 ○三橋総合保健福祉センター ○出席者 ・評議員 17 人（総数 20 人） ※定数 17 人以上 22 人以内 ・副会長、常務理事 ・事務局 6 人</p>	<p>議案第 1 号 令和 5 年度資金収支補正予算 [第 2 号] の専決処分 議案第 2 号 理事の選任 ※全議案全会一致で可決</p>
	<p>第 3 回評議員会 ○令和 6 年 3 月 26 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・評議員 13 人（総数 20 人） ※定数 17 人以上 22 人以内 ・会長、常務理事 ・事務局 7 人</p>	<p>議案第 1 号 令和 5 年度一般会計資金収支補正予算 [第 3 号] の専決処分 [主な意見及び質疑] ・消費税納税の遡及期間について 議案第 2 号 平成 29 年度から令和 8 年度社会福祉充実計画の終了 [主な意見及び質疑] ・充実残高が不足した経緯について 議案第 3 号 定款の変更 議案第 4 号 役員等報酬規程の一部改正 [主な意見及び質疑] ・後見報酬について ・法人後見運営委員会の構成等について ・生活支援体制整備事業の展開について 議案第 5 号 令和 6 年度事業計画 議案第 6 号 令和 6 年度一般会計資金収支予算 [主な意見及び質疑] ・社協会費納入率低下の対策について ※全議案全会一致で可決</p>

<p>(4) 正副会長会</p>	<p>第 1 回正副会長会 ○令和 6 年 3 月 1 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・会長 ・副会長 2 人 ・常務理事 ・事務局 6 人</p>	<p>協議第 1 号 法人後見事業の実施 協議第 2 号 令和 6 年度事業計画 (案) 協議第 3 号 令和 6 年度収支予算 (案)</p>
<p>(5) 企画・財政委員会</p>	<p>第 1 回委員会 ○令和 6 年 1 月 26 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・企画・財政委員 8 人 ※定数 8 人 ・会長 ・常務理事 ・事務局 5 人</p>	<p>選任第 1 号 委員長及び副委員長の選任 議案第 1 号 令和 6 年度福祉団体等助成金の交付 ※全議案全会一致で承認</p>
<p>(6) 評議員選任・解任委員会</p>	<p>第 1 回委員会 ○令和 5 年 6 月 12 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・評議員選任・解任委員 5 人 ※定数 5 人 ・事務局 2 人</p>	<p>議案第 1 号 後任評議員の選任 ※全議案全会一致で承認</p>
	<p>第 2 回委員会 ○令和 5 年 9 月 19 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・評議員選任・解任委員 4 人 ※定数 5 人 ・会長 ・常務理事 ・事務局 1 人</p>	<p>選任第 1 号 委員長の選任 議案第 1 号 後任評議員の選任 ※全議案全会一致で承認</p>
<p>(7) 表彰審査委員会</p>	<p>第 1 回表彰審査委員会 ○令和 5 年 9 月 20 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・表彰審査委員 5 人 ※定数 6 人 ・事務局 3 人</p>	<p>第 17 回柳川市社会福祉大会被表彰者の審査 令和 5 年度被表彰者 社会福祉団体役員 3 名 民生委員・児童委員 15 名 柳川市社会福祉協議会役員等 2 名 ボランティア団体 2 団体 社会福祉団体 2 団体 福祉委員 37 名 心配ごと相談員 2 名 市社協会長感謝 1 団体、1 名</p>

2. 職員の教育・研修

研修名等	時期・場所等	内容及び効果
(1) 職員研修	令和5年6月16日 三橋総合保健福祉センター 参加者 常勤職員 24人	「信頼関係を築くコミュニケーションについて学ぼう！」 講師：パーソンサポート絆 川島豊輝氏 コミュニケーションには、「客観視」、「受容」だけが重要ではないことを学んだ。また、日常でも活用できる小技を紹介いただき、実践形式で講義を受講し、有意義な時間となった。
	令和5年9月15日 三橋総合保健福祉センター 参加者 常勤職員 30人	「いざという時のために救命活動を学ぼう！」 講師：柳川消防署 本村拓人氏 対人業務が多い社協において、人命救助が必要な場面に遭遇する機会があることから、実技やシミュレーションを行い、救命活動について学んだ。
(2) 人権・同和研修		
i 人権を考えるつどい (柳川市主催)	令和5年12月17日 柳川市民文化会館 参加者 6人	「転んだら、どう起きる？」(講演) 講師 宇梶剛士氏
ii 企業等の事業主に対する人権・同和问题研修会(大牟田地区企業内同和問題研修推進委員会主催)	①令和5年5月23日 まいピア高田 参加者 1人 ②令和6年1月20日 石橋文化センター 参加者 1人	①「ハラスメントの防止」(講演) 講師 倉富史枝氏 ②「全筑後水平社創立100周年記念集会」

※上記の他、業務上必要で専門的な外部研修等に適時参加した。

3. 他市町村災害ボランティアセンターへの職員派遣

派遣先等	時期・派遣者等	内容
広川町及び久留米市災害ボランティアセンター	派遣期間：令和5年7月15日 ～9月3日 派遣日数：延べ40日間 派遣者数：正規職員9人	令和5年7月の豪雨災害により、被害が大きかった広川町及び久留米市を支援するため、災害ボランティアセンター運営に携わる職員を派遣した。

4. 福祉人材育成のための実習生の受入

実習名等	時期・内容等
(1) 介護員養成実習	受入無し
(2) 社会福祉援助実習	時 期：令和 5 年 8 月から 9 月まで 24 日間 実習生：九州医療専門学校 2 人

《地域福祉活動推進部門》

1. ボランティア育成・福祉教育

[ボランティアセンター管理運営]

<p>【窓口対応件数】 計 550 件 (前年比 42 件増)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの登録 7 件 ・ボランティア活動の相談 41 件 (内訳) 活動希望 20 件、活動要請 21 件 ※この内マッチング件数は 33 件 ・その他の相談 32 件 ・ボランティアセンターへの協力要請 61 件 ・ボランティア連絡協議会からの相談 47 件 ・諸室、印刷機の利用 362 件 ※ボランティアセンターへの訪問者数 272 人 	<p>【登録団体件数】 計 36 団体 (前年比 3 団体増)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会ボランティア 11 団体 ・福祉ボランティア 13 団体 ・教育ボランティア 2 団体 ・文化ボランティア 5 団体 ・子育てボランティア 3 団体 ・環境ボランティア 2 団体
<p>【ボランティア体験会】</p> <p>①11/28 水都やながわ花植え活動 (8 人)</p> <p>②3/9 フードパントリー (4 人)</p> <p>【ボランティアサロン】 毎月第 3 土曜日開催 参加者 延べ 168 人</p> <p>※10 月は社会福祉大会のため中止</p>	<p>【ボランティア保険加入件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動保険 61 件 693 人(36 人増) ・行事用保険 14 件 ・福祉サービス補償 3 件 <p>【生活支援ボランティア (ちょいボラ) 活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録者数 31 人 ・ボランティア要請件数 6 件 ・延べ活動人数: ボランティア 9 人、社協 8 人 主な活動内容: 買い物同行、窓ふき、植木鉢移動
<p>【評価及び課題】</p> <p>依然として、ボランティアの高齢化による活動者の減少が今後の課題であるが、既存団体の継承ではなく、新しい発想のボランティア活動者やボランティア団体の育成に努める。</p> <p>現在、市子育て支援課の子ども食堂事業補助金制度を利用した子ども食堂の推進や高齢者福祉係との連携を図りながら、生活支援ボランティア「ちょいボラ」活動者の育成に努める。</p>	

[各種講座・福祉教育関係]

事業の名称	事業内容・評価及び課題
ボランティア講座	<p>「できる人が できるときに できることだけ」をテーマに身近なボランティア活動から始めてもらうことを目的に実施した。</p> <p>【1 日目】 ①テーマ 「ボランティア活動の楽しさとやりがい」 講師 高田悦也 氏 参加者 21 人</p> <p>【2 日目】 ②テーマ 「認知症カフェについて」 講師 市高齢者福祉係</p> <p>③テーマ 「ちょいボラについて」 講師 市社協職員 参加者 14 人</p> <p>【評価及び課題】</p> <p>1 日目は、子育てアドバイザーの高田悦也氏に「ボランティアの楽しみとやりがい」について寿命 100 年時代、60 歳からどう生きるかなどお話いただいた。</p> <p>2 日目は、「認知症カフェ」について、認知症の方との関わり方、居場所づくりの大切さなどについてお話いただいた。</p> <p>また、「ちょいボラ」の仕組みや活動内容について説明をした後、交流会を行い、実際に活動している方からの話を聴くことができたことで、今後のボランティア活動のきっかけとなる良い機会となった。</p>

<p>傾聴ボランティア 養成講座</p>	<p>傾聴の心構えや基礎知識、技術等を学び地域において活動する傾聴ボランティアを養成することを目的に実施した。実習希望者には、本会の生きがいデイサービス事業利用者を対象に実習を行った。</p> <p>講師 宮崎由紀子 氏（再評価カウンセリングティーチャー）</p> <p>内容 座学 7 回、施設実習 1 回</p> <p>参加者 13 人</p> <p>【評価及び課題】</p> <p>前年度に引き続き、傾聴技術を本格的に習得する機会として開催した。受講後、傾聴ボランティアグループに入会され傾聴活動を始められる受講者もおられたが、講座内容の難しさから途中で受講を辞退された方もおられたため、今後、市民の方が気軽に傾聴を学べるよう講座内容を検討していく必要がある。</p>
<p>市民福祉講座</p>	<p>市民の福祉への関心を高め、身近なテーマについて学習する機会を提供するために実施した。</p> <p>①パワーポイントを用いたチラシ作りを学ぼう！</p> <p>講師 福島産業㈱ パソコンスクール PC ワークス 福島良太 氏</p> <p>参加者 15 人</p> <p>【評価及び課題】</p> <p>よりあい活動や地域食堂等の地域行事で作成するチラシについて、パワーポイントを用いたチラシ作りの基礎を学んでいただいた。今後も、市民に関心の高い福祉時事問題や福祉課題を抱える当事者支援に繋がる講座を企画していきたい。</p>
<p>福祉出前講座</p>	<p>○福祉体験学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蒲池小学校からの要請を受け、3 年生を対象に総合的な学習の時間を活用し福祉体験学習を実施した。 <p>学習内容：高齢者疑似体験、車いす体験</p> <p>参加者 49 人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柳川高校で実施された福祉入門講座において、高齢者疑似体験や車いす体験、白杖体験等の支援を行った。 <p>3 月 11 日、12 日、13 日（3 日間）</p> <p>【評価及び課題】</p> <p>高齢者の疑似体験や車いす体験を通じて、高齢者や障がいのある人、介助する人の置かれている状況について理解するとともに福祉の心の醸成に繋がったものと思われる。今年度は 2 箇所のみの実施に終わったため、今後、積極的な事業周知に努めていきたい。</p>
<p>福祉教育教材 活用事業</p>	<p>7 月 11 日、市内 19 小学校と柳河特別支援学校の 3 年生から 5 年生（学校で 1 学年選択）に 582 冊配布。</p> <p>【評価及び課題】</p> <p>周りの人々とつながり合い支えられていることや、感謝と思いやりの心の大切さを学ぶ機会となったとの報告があった。引き続き、学校と連携し教材を活用した福祉教育を進めていきたい。</p>

各種機材・機器 等貸与事業	年間貸与件数 9 件 ・福祉関係事業所 (7 件)、学校 (1 件)、子ども団体 (1 件) 貸与機材・機器 ・高齢者疑似体験用具 (6 件)、プロジェクター (3 件)、スクリーン (2 件)、 スピーカー (2 件)、DVD ビデオデッキ (1 件)
------------------	---

2. 調査・広報・普及

事業の名称	事業内容・評価及び課題
各種基礎調査	<p>人口や世帯数、高齢者、障がい者等に関するデータ把握のため基礎調査を実施した。 ≪令和 5 年 3 月 31 日現在データ≫</p> <p>①人口 62,809 人 (前年比 757 人減) ・65 歳以上の割合 34.5% (前年比 0.2%増) ・75 歳以上の割合 18.8% (前年比 0.7%増) ・14 歳未満の割合 11.6% (前年比 0.2%減)</p> <p>②世帯数 26,258 世帯 (前年比 239 世帯減)</p> <p>③65 歳以上独居高齢者数 4,940 人 (前年比 164 人増)</p> <p>④65 歳以上高齢者世帯数 8,552 世帯 (前年比 189 世帯増)</p> <p>【評価及び課題】 調査した福祉データを各種研修や出前講座等で活用し、市民への福祉啓発を推進していく。</p>
社協だより発行 ※年 6 回発行、 奇数月 第 109～114 号	<p>【第 109 号】第 3 期地域福祉活動計画、市民福祉講座報告、福祉委員全体研修会報告、社協会費お礼、メセナシート事業案内等</p> <p>【第 110 号】令和 4 年度事業報告・決算報告、災害時相互支援協定調印式、ちよいボラ紹介、食品提供のお願い、社協会費協力依頼等</p> <p>【第 111 号】赤い羽根共同募金協力依頼、社会福祉大会案内、傾聴ボランティア講座募集、福祉用具貸与事業案内等</p> <p>【第 112 号】ふれあいフォト・福祉標語コンテスト入賞作品紹介、地域食堂開催報告、地域食堂支援助成金案内、ハンディキャブ貸与事業案内等</p> <p>【第 113 号】年頭挨拶、役員研修報告、社会福祉大会報告、寄附お礼等</p> <p>【第 114 号】福祉用具貸与事業案内、地域食堂紹介、JA フードドライブ報告、フードドライブ案内、福祉委員活動紹介、地区社協役員研修会報告等</p> <p>【評価及び課題】 「第 3 期地域福祉活動計画」についてシリーズで概要を掲載し、市民への周知を図った。引き続き、字体や文字の大きさ、余白、レイアウトなどを統一し、読みやすい広報誌づくりを心掛け、紙面の更なる充実に努めた。</p>

インターネットによる情報発信	<p>○ホームページ 随時更新を行い、社協事業など最新の情報を掲載し、市民に情報提供を行った。 ・年間アクセス件数 30,453 件</p> <p>○フェイスブック フェイスブックを通して、社協事業や地域福祉の情報提供及び啓発活動を行った。</p> <p>○LINE 公式アカウントを通して、社協事業や福祉情報等の情報発信を行った。</p> <p>【評価及び課題】 紙媒体とインターネットを併用した情報提供及び広報活動の充実に努めていく。</p>
第 17 回柳川市社会福祉大会	<p>社会福祉の発展に功績のあった方を表彰するとともに、広く市民に参加を呼びかけ、社会福祉への関心を高める機会として実施。</p> <p>①オープニング（柳城中学校吹奏楽部の演奏） ②式典（表彰、大会宣言など） ③当事者からのメッセージ 発表者 幸森彩香 氏（大会実行委員） ④映画上映「ペコロスの母に会いに行く」 参加者 584 人</p> <p>【評価及び課題】 メイン行事としては久々の映画上映であったが、多くの方に来場いただき大盛況であった。今後、若者や子どもも含めたより幅広い世代に参加してもらえよう、次年度大会のあり方を検討していきたい。</p>

3. 小地域福祉ネットワーク、よりあい活動

事業の名称	事業内容・評価及び課題
福祉委員設置推進事業	<p>○福祉委員設置状況（R6.3 月末現在） 福祉委員数 458 人（294／326 行政区）</p> <p>○研修等開催状況 福祉委員地区別研修会 ①9 月 6 日、大和地区（参加者 52 人）、②9 月 8 日、三橋地区（参加者 41 人） ③9 月 13 日、柳河・沖端・昭代地区（参加者 52 人） ④9 月 13 日、城内・東宮永・両開地区（参加者 45 人） ・福祉委員の役割について ・グループワークによる意見交換</p> <p>○次期福祉委員の選任手続き 今期の委員の任期満了に伴い、2 月下旬に各行政区長に推薦依頼を発送</p> <p>○活動アンケートの実施 現委員の活動状況を把握するため、全員にアンケート調査を実施。 3 月発送・回収（回収率 56%）</p> <p>【評価及び課題】 地区別研修会は 4 年ぶりの開催となった。コロナ禍で福祉委員同士の意見交換の場が持てない状況が続いたが、互いの活動状況などを確認する良い機会になった。 次年度は委員の改選期となるので、選任に係る迅速な事務手続きを進めるとともに、活動支援の充実に努めていきたい。</p>

<p>地区社協事業</p>	<p>○地区社協連絡会 第1回（6月20日、各地区会長） ・地区社協連絡会役員改選について（会長・副会長の選任） ・第3期地域福祉活動計画について ・令和5年度市社協事業及び組織体制について ・各地区の今年度の主な取り組みについて 第2回（3月6日、各地区会長、事務局長） ・令和6年度地区社協連絡会事業及び活動助成金について ・福祉委員の選任に係る推薦について ・事前提出の協議事項に関する意見交換</p> <p>○地区社協役員研修会 1月27日、水の郷ホール 参加者 15地区、56人</p> <p>○地区社協個別支援 内部研修への職員派遣、その他、運営及び活動への助言等</p> <p>【評価及び課題】 コロナ感染症も5類に移行されたことで各地区社協とも従来の福祉活動に戻りつつあるが、ここ数年の活動自粛中に運営体制が変更になった地区もあることから、改めて各地区への個別支援を中心に、地区社協活動の活性化に向けた支援に努めていく。</p>
<p>よりあい活動普及推進事業</p>	<p>○よりあい活動室内遊具の貸与 貸与件数 45件（内訳：地域デイサービス 19、その他よりあい活動等 26）</p> <p>○レクリエーション指導回数 年 23回</p> <p>○新規立ち上げのための助成金交付 助成団体数 5団体（各 10,000円）</p> <p>【評価及び課題】 新型コロナウイルス感染症がやや落ち着いて地域のつながりの再構築を求める声が出てきたことから、今年度新たに5団体がよりあい活動を新規に立ち上げることとなり、立ち上げに係る支援と助成金の交付を行うことができた。 また、遊具の貸与件数、レクリエーション指導回数も前年度を大幅に上回った。 今後も、遊具の貸出やレクリエーション指導を通して参加者の生きがいや居場所づくりの一助となるよう事業を継続していきたい。</p>

4. 当事者及び当事者団体への支援

事業の名称	事業内容・評価及び課題
歳末助け合い事業 ※助成事業 (12/1～12/31)	<p>新年を迎える時期に要支援者が安心して暮らすことができるように、地区社会福祉協議会の歳末助け合い事業を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施地域：柳川 8 地区、大和 6 地区、三橋 5 地区 ・助成額 943,300 円（前年比 6,900 円減） ・主な事業：ひとり暮らし高齢者、高齢者のみ世帯及び施設入居者等への見舞品配布（カツオパック、お茶、タオル、手紙など） <p>※市社協で作成した見守り配布物（脳トレドリル、自宅でできる体操の紹介チラシ等）も活用いただいた。</p> <p>【評価及び課題】 地区社協を通じた年末時期のたすけあい活動として定着している。歳末期に限らず、平常時における声かけや見守り活動の充実に繋がる支援を行っていきたい。</p>
福祉団体活動支援事業 ※助成事業	<p>市内で活動する福祉団体の当事者同士の交流、福祉制度の学習や広報啓発の活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成団体数 4 団体（前年比±0） ・助成額 639,000 円（前年比 70,000 円減）
ボランティア団体活動支援事業 ※助成事業	<p>誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、主に市内で活動するボランティア団体の活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成団体数 4 団体（前年比±0） ・助成額 135,000 円（前年比±0）
ボランティア連絡協議会活動支援事業 ※助成事業	<p>市内でボランティアを行う団体又は個人の繋がりを作り、活動を推進するために、ボランティア連絡協議会の活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 94,000 円（前年比 4,000 円増）
地域食堂支援事業 ※助成事業	<p>子どもたちの健やかな成長と地域の支え合い活動等の推進を目的として、市内で地域食堂を実施する団体に対する活動支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成団体 4 団体 ・助成額 95,000 円
物故者への敬供事業	<p>敬供件数 927 件（前年比 25 件増） ※敬供品 線香及び弔意</p> <p>【評価及び課題】 香典返し寄付の件数及び寄付額は前年度と同程度であった。近年、敬供寄付比率が漸減傾向にあるため、引き続き敬供事業の在り方を検討していく必要がある。</p>

5. 地域における公益的な取り組みの推進

事業の名称	事業内容・評価及び課題
地域公益活動への参加	<p>○道守柳川ネットワーク清掃活動への参加 10月22日（日） 4人参加 2月25日（日） 7人参加</p> <p>○ストレスマネジメント研修への参加 10月31日 5人参加</p> <p>【評価及び課題】 社会福祉法人連絡協議会（16団体加入）の事務局として、総会・役員会等の組織運営や未加入法人への加入促進及び清掃活動への積極的な参加を行った。</p>

《市民福祉サービス部門》

1. 悩みごとを抱える世帯への支援

(1) 心配ごと相談事業 [市受託事業]

場 所	開設日・時間	開設日数	相談件数	主な相談事項
柳川総合保健福祉センター 「水の郷」	第1・第3木曜日 13:00～16:00	22日 (±0)	30件 (-5)	①住宅・土地 11件 ②家族 8件 ③財産 4件
<p>【評価及び課題】</p> <p>6月15日及び12月7日に人権相談と合同相談会を開催したが、2日間で相談2件にとどまり、前年度の2日間で9件に比べると減少した。</p> <p>近年、専門的な相談事業が各地で開催されているところではあるが、当該事業はどこに相談に行ってもいいかわからない人向けの初期相談窓口としての役割を担っていることから、気軽に相談できる相談窓口として広く市民に周知していく。</p>				

2. 生活困窮世帯への支援

(1) 緊急支援品支給事業

申請件数	実申請者数	延べ世帯人数	社協支給品				その他支給品
			アルファ米	パン(缶)	主食 (ご飯、麺など)	副食 (インスタント)	
165件 (+60)	44人 (-2)	255人 (+63)	12食 (+1)	25缶 (+11)	249食 (+85)	447食 (+359)	フードバンクくるめ、県社協、寄附などで提供いただいた缶詰、麺類、白米、パン(缶)、レトルト食品等を支給。
<p>【評価及び課題】</p> <p>申請件数、延べ世帯人数が前年度を大きく上回ったが、同一申請者による複数回の申請が増加したため、実申請者数は前年度と同程度であった。また、フードバンクくるめや市民、企業から多くの食料品を提供いただいたため、申請者のライフラインの供給状況に応じた多様な食料品を支給することができた。</p> <p>今日、慢性的に生活困窮に陥っている申請者が多く、一時的ではなく長期的に支援品の支給が必要な世帯が増えてきていることから、今後、そのような世帯への対応について検討が必要である。</p>							

(2) 生活福祉資金貸付事業 [県社協受託事業]

①本則貸付

福祉資金本則貸付 資金種類		相談件数				申請 件数	決定 件数	償還完 了件数	年度末 件数
		申込	償還	その他	計				
総合支援 資金	生活支援費	3件	0件	1件	4件	1件	0件	0件	17件
	住宅入居費	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
	一時生活再建費	1件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	
臨時特例つなぎ資金		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	2件
福祉資金	福祉費	12件	1件	0件	13件	0件	0件	2件	25件
	緊急小口資金	44件	0件	17件	61件	13件	13件	14件	43件
教育支援 資金	教育支援費	28件	6件	3件	37件	4件	4件	3件	129件
	就学支度費	27件	6件	2件	35件	4件	4件	2件	
不動産担 保型生活 資金	一般世帯	1件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	1件
	要保護世帯	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
離職者支援資金		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	3件
海苔養殖業者緊急生活資金		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	11件
合計 (前年比)		116件 (+29)	13件 (-6)	23件 (+10)	152件 (+33)	22件 (+10)	21件 (+12)	21件 (-4)	231件 (±0)

②新型コロナ特例貸付

資金種類	償還完了 件数	償還免除 件数	債権件数	相談件数 (前年比)			
				償還方法	償還免除	その他	計
緊急小口資金	2件	52件	231件	11件 (-22)	4件 (-29)	11件 (-7)	26件 (-58)
生活支援費	0件	59件	279件				
合計 (前年比)	2件 (+1)	111件 (-125)	510件 (-113)				

【生活福祉資金貸付事業 評価及び課題】

前年度と比べ、新型コロナ関連の給付金や貸付制度が終了した影響もあり、本則の貸付相談件数（主に教育支援資金）が増加した。緊急小口資金の申請件数の内 11 件は生活保護受給までの生活費つなぎ資金の貸付申請で、この中にはコロナ特例貸付の借入世帯も含まれている。また、コロナ特例貸付借入世帯から本則の借入相談があるなど、状況が改善していない世帯が見受けられる。当該貸付の相談を機に生活困窮世帯を把握することができたが、貸付対象外となった場合、その後の相談支援を希望されないケースが多いことから、世帯更生に向けたきっかけとなるよう生活相談会（弁護士等の専門職による相談会）等を開催し、引き続き関係機関との連携のもと社会資源を活用しながら支援を行っていく。

また、令和 5 年度から導入された生活福祉資金システムを活用し、償還状況の把握に努め、円滑な相談・支援につなげるとともに、生活保護世帯への貸付の際に保護費からの代理納付制度が可能となるよう、引き続き柳川市と協議を行っていく。

3. 子育て世帯への支援

(1) 子育て支援ゆずりあい事業

品目	チャイルドシート	ベビーベット	ベビーカー	その他	合計
譲受件数	9件 (±0)	1件 (-6)	2件 (+2)	4件 (-2)	16件 (-6)
譲渡件数	11件 (+4)	4件 (-3)	3件 (+3)	2件 (±0)	20件 (+4)
合計 (前年比)	20件 (+4)	5件 (-9)	5件 (+5)	6件 (-2)	36件 (-2)

【評価及び課題】

不要となった育児用品を譲りたい人と譲ってほしい人との橋渡しを行うことで、資源の有効活用と子育て世代の育児支援を目的に実施しており、今年度から需要が多いベビーカー等の子育て用品を対象品目に追加するなど事業要綱の一部改正を行った。

譲渡された育児用品は、破損や汚れ、製造年からかなり経過しているなど譲渡に向かない状態の物もあったため、製造後概ね10年以内の物に限定し、状態によってはお断りすることとした。

4. 在宅生活の支援

(1) 福祉用具貸与事業

貸与品	年間の貸与延べ件数	評価及び課題
車椅子	367件 (+26)	<p>電動ベッドの貸与については、令和6年度から住民税非課税世帯及び生活保護受給世帯のみを対象とすることから、貸与件数は大幅に減少する見込みである。</p> <p>また、現在所有している福祉用具は、使用年数が長いものも増えてきていることから、全ての福祉用具の総点検を行い、安全性が担保できたものを貸与していく。</p>
電動ベッド	717件 (-139)	
簡易ベッド	1件 (-3)	
歩行器	39件 (+3)	
松葉杖	8件 (-2)	
乳児用ベッド	5件 (+3)	
合計 (前年比)	1,137件 (-112)	

(2) ハンディキャブ (福祉車両) 貸与事業

実利用者数 (前年比)	年間貸与件数 (前年比)	評価及び課題
27人 (+2)	120件 (+41)	<p>今年度は、コロナ禍前の水準に戻り、平成21年の事業開始以降で過去最大の貸与件数となったが、令和6年1月に車両1台がエンジン不調で廃車し貸与車両が1台となったため、それ以降の貸与件数は半減していく見込みである。</p> <p>需要が多い事業であることから、令和6年度に車両1台を購入予定である。</p> <p>今後も車椅子利用者の外出支援のため、広報誌等での周知に努めていく。</p>

5. 被災世帯への支援

(1) 火災見舞品支給事業

支給件数 (前年比)	事業内容・評価及び課題
5 件・10 セット (+1 件・+1 セット)	寝具が無いなど早急な支給が必要な場合に対応するため、令和 4 年 12 月から見舞品 2 セットを備蓄している。今後も被災状況の情報を正確に把握し、速やかに見舞品を届けられるように努める。

6. 権利擁護が必要な方への支援

(1) 日常生活自立支援事業 [県社協受託事業]

利用区分	期首人数	期中増数	期中減数	期末人数	支援回数
認知症高齢者	14 人	2 人	3 人	13 人	222 回
知的障がい者	5 人	4 人	2 人	7 人	168 回
精神障がい者	4 人	4 人	1 人	7 人	146 回
計 (前年比)	23 人 (+3)	10 人 (+5)	6 人 (+4)	27 人 (+4)	536 回 (+173)
評価及び課題	<p>本事業の利用者の中には、年月の経過で契約当初に比べると判断能力が低下している利用者が見受けられることから、成年後見制度への移行について柳川市の成年後見制度担当部署と相談しながら、成年後見制度への移行を進めていく必要がある。</p> <p>また、後見人のなり手が見つかりにくい状況にある人の受け皿として、本会が法人後見を受任し、後見人として支援していく必要がある。</p>				

7. 福祉バス事業 [市受託事業]

利用団体	利用日数	利用者数	評価及び課題
市・単位老人クラブ	15 日 (+10)	213 人 (+135)	<p>依然としてコロナ禍前の利用水準には戻っていないが、少しずつ利用が増えてきている。</p> <p>また、車両の使用年数が 25 年、走行距離が 254,000 km を超えているため、車両の老朽化が課題である。</p>
福祉団体	11 日 (+3)	145 人 (+49)	
地域団体	0 日 (-2)	0 人 (-33)	
民生児童委員協議会	4 日 (±0)	56 人 (-1)	
市・地区社会福祉協議会	9 日 (+5)	139 人 (+93)	
柳川市	6 日 (+3)	45 人 (+12)	
その他	2 日 (+1)	39 人 (+22)	
合計 (前年比)	47 日 (+20)	637 人 (+277)	

8. 大和・三橋老人福祉センター管理運営 [市受託事業]

[大和老人福祉センター]

月	開館日数	利用者数	平均利用者数
4月	25日	515人	20.6人
5月	23日	676人	29.4人
6月	26日	752人	28.9人
7月	26日	670人	25.8人
8月	23日	564人	24.5人
9月	25日	666人	26.6人
10月	26日	706人	27.2人
11月	24日	685人	28.5人
12月	23日	770人	33.5人
1月	23日	815人	35.4人
2月	23日	826人	35.9人
3月	26日	827人	31.8人
合計 (前年比)	293日 (+2)	8,472人 (+1,586)	28.9人 (+5.2)

【評価及び課題】
 新型コロナウイルス感染症や水質検査の影響によるセンターの閉館はなかったが、令和6年3月末に浴槽の水漏れがあり入浴を一時中止した。原因が確定しておらず早急に原因調査を行っていく。今後も、安全・安心な施設管理・衛生管理に留意するとともに、安心して利用できるセンター運営に努めていく。

[三橋老人福祉センター]

月	開館日数	利用者数	平均利用者数
4月	22日	892人	40.5人
5月	22日	831人	37.8人
6月	24日	858人	35.8人
7月	22日	822人	37.4人
8月	21日	770人	36.7人
9月	21日	735人	35.0人
10月	23日	789人	34.3人
11月	22日	694人	31.5人
12月	21日	611人	29.1人
1月	20日	422人	21.1人
2月	21日	768人	36.6人
3月	22日	857人	39.0人
合計 (前年比)	261日 (-1)	9,049人 (+189)	34.7人 (+0.9)

【評価及び課題】
 12月23日から1月19日まで風呂工事に伴い、入浴を中止していたため一時的に利用者数は減少したが、他の月は例年より増加傾向にあった。今後も感染症に留意しながら安全安心なセンター運営に努めていく。

《障がい者相談支援部門》

(1) 障害者相談支援事業・特定相談支援事業

障害種別	身体	知的	精神	発達障害	難病	重度心身	高次脳機能障害	その他	合計
月	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
4月	258件	388件	203件	58件	0件	86件	43件	48件	1,084件
5月	174件	440件	163件	49件	0件	136件	74件	53件	1,089件
6月	153件	428件	111件	80件	0件	91件	38件	62件	963件
7月	137件	387件	135件	89件	7件	87件	26件	63件	931件
8月	106件	376件	125件	56件	0件	85件	31件	90件	869件
9月	160件	380件	137件	54件	0件	69件	17件	86件	903件
10月	237件	297件	145件	35件	0件	63件	29件	76件	882件
11月	178件	345件	140件	49件	0件	99件	57件	65件	933件
12月	274件	416件	188件	36件	0件	58件	40件	50件	1,062件
1月	133件	328件	183件	24件	2件	97件	31件	72件	870件
2月	238件	285件	211件	48件	0件	37件	32件	64件	915件
3月	189件	403件	164件	23件	21件	61件	1件	97件	959件
合計 (前年比)	2,237件 (+291)	4,473件 (-458)	1,905件 (+228)	601件 (+120)	30件 (-39)	969件 (+4)	419件 (+151)	826件 (+207)	11,460件 (+504)
相談比率	19.5%	39.0%	16.6%	5.2%	0.3%	8.5%	3.7%	7.2%	—
<p>【相談方法】 関係機関(51%)、電話(23%)、訪問(4%)、来談(2%)、同行(2%)、個別支援会議(1%)、電子メール(1%)、その他(16%)</p> <p>【支援内容】 福祉サービス(21%)、健康・医療(15%)、生活技術(15%)、家計・経済(11%)、人間関係(8%)、就労(5%)、不安の解決(4%)、社会参加(3%)、権利擁護(3%)、障害・病気の理解(2%)、保育教育(2%)、その他(11%)</p>									
<p>【サービス利用計画作成件数 135 件】</p> <p>内訳：知的 81 件、身体 20 件、精神 17 件、重度心身 15 件、高次脳 1 件、発達障害 1 件</p>									
<p>【評価及び課題】</p> <p>所管課及び他相談支援事業所と基幹相談支援センターの担う役割について共通認識をもち、役割分担を行いながら相談支援を実施した。また、生活困窮者自立支援相談や保健所からのつなぎで相談対応を行ったり、ひきこもり状態にある方など未だ障がいの認定はないが支援を希望されている方に対応した。</p> <p>計画相談については、移管を前提に対応したケースの移管を終了しているが、以前から計画相談を行っている方の移管が進まなかった。</p>									

《在宅福祉サービス部門》

(1) 介護保険事業・障害者総合支援事業

月	居宅介護支援	訪問介護		障害者総合支援	
	利用者数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数
4月	106人	29人	214回	15人	157回
5月	100人	30人	242回	12人	154回
6月	105人	31人	239回	13人	147回
7月	104人	30人	227回	12人	130回
8月	102人	30人	226回	12人	133回
9月	99人	25人	210回	13人	133回
10月	100人	27人	227回	12人	136回
11月	95人	25人	214回	11人	135回
12月	93人	27人	191回	10人	126回
1月	82人	27人	193回	12人	124回
2月	72人	25人	199回	11人	146回
3月	63人	22人	187回	14人	136回
合計 (前年比)	1,121人 (-210)	328人 (-38)	2,569回 (-300)	147人 (-28)	1,657回 (-216)

【評価及び課題】

居宅介護支援については、コロナ感染症が5類移行後は自宅訪問を再開した。職員体制の変更もあり、利用者数は減少となった。訪問介護については、訪問回数の多い利用者の減少、入院や入所、要介護度の低下や死亡等により利用回数は減少した。障害者総合支援事業については、利用者の入院、死亡等で利用者数・利用回数ともに減少した。引き続き、信頼される介護サービスの提供に努めていきたい。

(2) 予防給付事業

月	介護予防支援	総合事業（現行相当訪問介護）	
	利用者数	利用者数	利用回数
4月	16人	50人	334回
5月	17人	49人	354回
6月	17人	47人	332回
7月	17人	47人	337回
8月	15人	46人	365回
9月	17人	43人	321回
10月	16人	47人	356回
11月	16人	47人	330回
12月	16人	47人	351回
1月	16人	48人	317回
2月	11人	48人	345回
3月	11人	47人	332回
合計 (前年比)	185人 (-50)	566人 (-133)	4,074回 (-1,377)

【評価及び課題】

介護予防事業全般において、利用者数及び利用回数ともに減少となったが、今後も利用者の自立した生活を支援するため、適切な介護サービスの提供に努めていきたい。

(3) 在宅介護自費サービス事業

月	実利用者数	利用回数
4月	7人	11回
5月	7人	12回
6月	7人	16回
7月	8人	20回
8月	7人	18回
9月	9人	21回
10月	7人	19回
11月	7人	21回
12月	7人	18回
1月	7人	18回
2月	7人	18回
3月	6人	16回
合計 (前年比)		208回 (+48)

【評価及び課題】
 介護度が軽度となった方の利用が増加傾向にあり、自費サービスの依頼が徐々に増えてきている。
 今後も引き続き、利用者の介護ニーズに柔軟に対応できるようサービス内容を工夫・改善しながら自費サービスの提供に努めていく。

(4) 地域生活支援事業 [市受託事業]

[移動支援事業]

月	実利用者数	利用回数
4月	2人	25回
5月	3人	28回
6月	4人	25回
7月	2人	22回
8月	2人	23回
9月	3人	26回
10月	4人	23回
11月	4人	24回
12月	2人	20回
1月	3人	24回
2月	3人	22回
3月	3人	26回
合計 (前年比)		288回 (-186)

【評価及び課題】
 当該事業を毎日利用されていた方が施設入所されたことで、利用回数は減少となった。
 今後も利用者の年齢や特性を考慮し、社会参加のための外出や余暇活動に同行し、安全に支援していきたい。

(5) 生活管理指導員派遣事業・エンゼルサポーター派遣事業 [市受託事業]

月	生活管理指導員派遣		エンゼルサポーター派遣	
	実利用者数	派遣回数	実利用者数	派遣回数
4月	22人	61回	1人	7回
5月	23人	70回	1人	8回
6月	22人	68回		
7月	18人	52回		
8月	19人	67回		
9月	20人	62回		
10月	21人	66回		
11月	24人	77回		
12月	24人	73回		
1月	25人	72回		
2月	25人	83回		
3月	24人	79回		
合計 (前年比)		830回 (-49)		15回 (+8)

【評価及び課題】

生活管理指導員派遣事業については、利用者数は前年度と同程度、派遣回数は減少したが、夫婦での隔週利用者が増加している。当該事業の利用が必要なひとり暮らし高齢者等の自立した生活を支援するため引き続き生活支援サービスを提供していく。エンゼルサポーター派遣事業については、年度当初2ヵ月間の利用のみであった。引き続き所管課と連携し利用者支援に繋げていきたい。

(6) 高齢者生きがい活動支援通所事業 [市受託事業]

月	実施日数	登録者数	実利用者数	延べ利用者数	1日平均利用者数
4月	20日	34人	33人	210人	10.5人
5月	20日	34人	33人	194人	9.7人
6月	22日	35人	34人	219人	10.0人
7月	19日	36人	31人	178人	9.4人
8月	18日	38人	32人	159人	8.8人
9月	20日	40人	38人	201人	10.1人
10月	21日	42人	39人	226人	10.8人
11月	20日	43人	38人	227人	11.4人
12月	19日	44人	36人	215人	11.3人
1月	17日	44人	34人	175人	10.3人
2月	19日	45人	35人	210人	11.1人
3月	20日	46人	39人	221人	11.1人
合計 (前年比)	235日 (+3)			2,435人 (+103)	10.4人 (+0.3)

【評価及び課題】

利用者の高齢化が進んでおり、平均年齢は86歳。デイサービスを利用することで日常生活における活動意欲の向上及び認知症予防に繋がっている反面、高齢であるため、筋力低下など疾病のリスクも高くなり、入院や介護施設への入所などで利用者は減少傾向にある。また、利用者の殆どが女性のため、男性からの問い合わせや、希望があっても利用に繋がりにくい状況にある。事業対象地区が限定され、周知や広報活動に制約があるが、民生委員等を通じて新規利用者の獲得に努めていきたい。行事や活動の制限は緩和されたが、感染防止対策を徹底し安心して利用できるよう努めていきたい。

